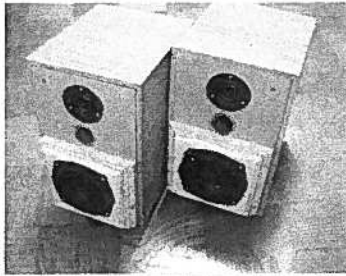


ミニ2 Way スピーカ

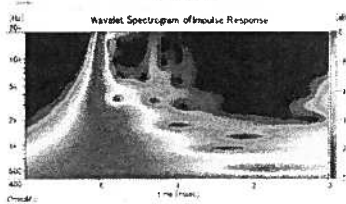
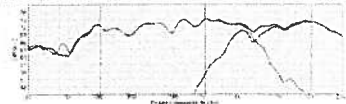


小型の2Wayスピーカを作りました。ユニットは

ウーファ DENON ? 12RW38 (12cm)

ツイータ Peerless XT25SC90-04(2.54cm)

でどちらもペア 5 千円程度と超廉価ですが、あなどれない性能のユニットです。エンクロージャは六本木の既製品で 7L ほど。バツフルは 12mm の合板でウーファ部のみは 2 枚重ねを追加してアライメントを取っていますがまだちょっと足りないので前方をインシュレータで持ち上げバツフルを傾けます。

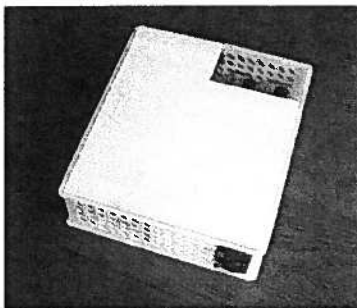


ネットワークは2次を基本にツイータの f_s インピーダンスの山をキャンセル。シングルワイヤで取りまとめし易くエンクロージャに内蔵しました。重量は約 5.5kg/個ともう少し軽ければという所です。

小型ながら音離れの良いしっかりした性格です。何と言っても価格に見合わない？ツイータのスッキリとした抜けの良い音で全体の音質レベルを上げていると思います。低音もそれなりに伸びてポート共振は 45Hz くらいですが、セッティング次第では 40Hz くらいまではいきそうです。

シンプルでこがたなので当初の目的どおり、アンビエントなりセンター用のサブスピーカとして使い易そうです。

TAS5630 デジタルアンプ



ハイパワーアンプが欲しかったので TAS5613 チップを TAS5630 に載せ換えたモジュールを使用してアンプにまとめました。

カタログ上は 4Ω で 600W (300Wx2) というのですが、8Ω だと 250w (125Wx2) くらいの出力でしょう。とはいえかなりのハイパワー版です。

電源もちろん SW 電源で、ニプロンの OZP-350-48-JSE というのをネットで調達しました。カタログ上は 48V350W 出力の電源ですが、ピークで 600W (12.5A) まで対応します。8Ω ならフルパワーが出る計算です。

最新の電源はやはり効率も良くアイドルパワーも低いようです。入力はユニバーサル対応なので自宅では 200VAC で使用中です。

ケースは相変わらず 100 均プラバケットを流用し、桐板でトップを被せました。重量 1.5kg

音質的には少し高域寄りですが、高解像で切れの良い音がします。バランス入力のみですが、アダプタでアンバラ対応します。